

漢字の正体を解き明かしていくと、漢字のほとんどは、その部品ともいべき部首が二つ以上合理的に組み合わせられてできている。これは1章でも述べたことです。しかも、基本的な部首の種類はそんなに多くありません。ですから、それらの部首の成り立ちや意味さえ知っておけば、漢字の学習は飛躍的に楽しくなります。初めて出合う漢字でもその読み方や意味について、かなり推測しやすくなります。

部首は、どの位置に置かれるかによって、次のような七種類に分けられます。

- ① 扁 へん
- ② 旁 ぼう
- ③ 冠 かん
- ④ 脚 きゃく
- ⑤ 垂 すい
- ⑥ 透 てう
- ⑦ 構 かう

そこで、それぞれの種類に属する部首を取り上げ、その成り立ちや意味について眺めてみましょう。図は現在、私たちが使っている形になるまでの変化の過程を示してあります。部首に関してこれだけ知っておくだけでも、漢字の理解がかなり変わってくることを実感してもらえましょう。

① 扁 へん

左右に分けられる場合、「左」の部分を「扁」といいます。

形声字の場合、「扁」の多くは「形(意味)」を表します。

「人」 にん 扁 べん ……人の意味

「人」の形を表し、「人」の意味に使われます。



字例 || 作・休・仮

「作」は「材木に切れ目を入れた」形を表した「乍」と、「亻」とを組み合わせた字です。「人が材木に切れ目を入れて、器具を「作る」」ことを意味します。

「玉」 たま 扁 べん ……玉の意味